

光は東方よい

旭川市立東光中学校
令和7年度
学校だより⑤
1月21日 発行

〒078-8348 旭川市東光8条2丁目 Tel:0166-32-1295 Fax 0166-32-1296

新たな飛躍の年へ～「駆ける午」の勢いを力に～

校長 高島 伸彦

令和8年（2026年）が幕を開けました。保護者の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。日頃から、本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、今年、令和8年は「午年」です。古来より午（うま）は、たくましい生命力と俊敏さ、そして一途に目的地へ向かって駆け抜ける姿から、「飛躍」「躍進」「無病息災」といった縁起の良い意味合いを持つ干支とされてきました。私たちも、この「駆ける午」の勢いを力に変え、子どもたちがそれぞれの目標に向かって力強く進んでいく一年にしたいと考えております。



✧ 3年生へ：受験という大一番に向けて

多くの3年生にとっては、この1月はまさに正念場を迎える月となります。長きにわたる努力と準備の成果を問われる高校入試という大一番が目前に迫っています。

午年の午は、古来、輸送システムにおいて重要な役割を担い、人や物資を迅速に、確実に目的地まで運ぶ象徴でした。3年生の皆さんには、これまで培ってきた学力や人間性という「財産」を携えて、体調管理を徹底しつつ、最後の最後まで諦めずにゴール（合格）を目指して駆け抜けてほしいと願っています。

保護者の皆様におかれましては、お子様が心穏やかに受験に集中できるよう、体調面、精神面でのサポートをお願いいたします。受験を控えて焦りや不安を感じるのは自然なことです。どうか、温かい励ましと信頼の眼差しで、お子様の背中を力強く押してあげてください。

✧ 1・2年生へ：進級という名の新たなスタートライン

一方、1・2年生にとっても、1月は新年度への大切な助走期間です。3年生が卒業すると、1年生は中堅となる2年生へ、2年生は学校の顔となる最上級生の3年生へ、それぞれ進級します。これは、環境が変わるだけでなく、学校を牽引する中心的な役割を担うことへの意識変革が求められる時期でもあります。

午が大地を力強く蹴って走り出すように、より一層目の前の学習や部活動に全力で取り組み、進級の準備を整える時です。「進級」とは、単に学年が上がるだけでなく、心の成長と心構えが求められる節目です。

現在の学年で身につけるべき基礎学力、生活習慣を今一度確認し、2年生は最高学年としての自覚と、1年生は先輩としての自覚をもち、日々の生活を大切にしよう指導してまいります。

✧ 保護者の皆様とともに

「午年」という飛躍の年に、子どもたちがそれぞれの壁を乗り越え、大きく成長できるよう、教職員一同、一丸となって指導してまいります。

進路決定という重大な時期を迎える3年生、そして学校の伝統を受け継ぐ1・2年生が目標に向かってまっすぐに、力強く走り抜けるよう、今後とも本校の教育にご理解とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

皆様にとりまして、この一年がさらなる飛躍と充実の年となりますよう、心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

いじめ防止 全校道徳

11月13日（水）に、生徒会の企画による「いじめ防止 全校道徳」を実施しました。この活動は、生徒一人一人がいじめ防止についての意識を高め、協力していじめのない学校づくりを目指すことを目的としています。

生徒会本部役員による寸劇の実演を見て、「傍観者にならないためには、どのように行動すればよいのか」ということを全校生徒で当事者意識をもって考えました。そして、全校生徒のつながりを築くために「人数集めゲーム」を行って、楽しいひとときを過ごしました。その後、教室に戻り、「いじめ防止標語」を作成しました。



1・2年定期相談, 3年三者面談

11月13日（木）～19日（水）にかけて1・2年定期相談と3年三者面談を行いました。1・2年生は、困っていることや学習・進路などについて話題にしました。3年生は、受検する高校を確認したり将来就きたい職業などについて話題にしました。

国の調査によると、中学生が実際に進路を決める時期は「中学3年生になってから」が一番多く45.8%、次に多いのが「中学2年生の頃」で27.2%となっています。中学校の3年間で将来の夢や希望をもって進路選択をしてほしいと思います。

P T A 役員の公募と今後のP T A 活動についてのアンケート

11月中旬、啓明小と千代田小6年生の保護者と東光中の保護者を対象に、令和7年度の東光中P T A 役員の公募と今後のP T A 活動についてのアンケート調査を実施しました。

この結果、役員に前向きなご意見や今後のP T A 活動のあり方など、貴重なご意見を寄せていただきました。今回のアンケート結果をもとに、P T A 本部役員で検討してまいります。

田中 葵惟さん（2-1）、税についての作文「旭川市長賞」受賞

税の作文で見事「旭川市長賞」を受賞したのは、田中 葵惟さんです。田中さんは、自身の体験に基づき、社会における税の役割等について、中学生らしい視点で論旨を展開しました。

12月2日（火）には、旭川市から金澤税務部長、梅津税務係長、旭川東税務署から藤本税務統括官にご臨席いただき、厳かな雰囲気の中で、栄誉を称える表彰が行われました。



中学生人権作文コンテスト 小川梨彩さん（1－4）最優秀賞受賞

第44回全国中学生人権作文コンテスト旭川地方大会（旭川地方法務局など主催）の表彰式が12月6日（土）、旭川市市民活動交流センターCoCoDe（ココデ）で開かれました。

旭川地方法務局管内（上川、宗谷、留萌の3管内とオホーツク、空知両管内の一部）の67校から計2142点の応募があり、21作品が入賞しました。

表彰式では、最優秀賞と優秀賞の受賞者に表彰状が授与されました。



人権作文コンテスト最優秀賞に輝いた旭川市立旭光中1年の小川梨彩さん

▲12/10 北海道新聞より

情報モラル教育

12月17日（水）、全校で「情報モラル」について考える道徳の学習をしました。

今回はアニメーション教材を使い、「もし自分だったらどうするか？」という視点で考え、議論しました。トラブルを避けるためのマナーだけでなく、自分たちの心身の健康を守るための使い方も学びました。

ネット社会を賢く生き抜く力をつけるには、学校と家庭で連携した指導が不可欠です。今回の学習が、ご家庭でスマホやインターネットのルールを見直していただくきっかけとなれば幸いです。

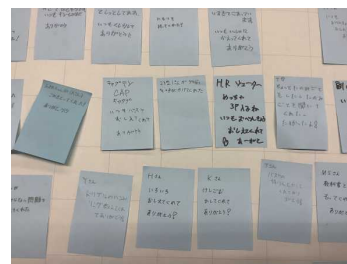


生徒会企画 一日一善運動

12月の1ヶ月間、自分がした善いこと、クラスの人や他学級の人がしていた「善い行い」・「感謝の気持ちを抱いたこと」を些細なことでも付箋に書き留め、廊下の模造紙に掲示して学年全体で共有する取組を行いました。

この取組は、生徒一人一人が学校生活の中で、仲間の思いやりの行動に気づき、行動に移すことを通して、思いやりの心を育むとともに、自己有用感を高めてほしいという願いから実施したものです。

生徒たちは、宝探しをするように仲間の「善い行い」を見つけては、互いの行動をポジティブに捉え、笑顔で付箋に書き込んでいました。



学校評価（年間評価）結果

学校評価にご協力いただき、ありがとうございます。集計結果やいただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

【教職員・生徒・保護者アンケート結果（満点は5点）】

項 目		具 体 的 内 容	平均
学校生活	保護者	お子さんは、楽しく学校へ行っている。	4.06
	生徒	毎日、楽しく学校生活を送れている。	4.43
自己肯定感・自己有用感	教職員	学校内外のボランティアへの参加を通して自己有用感の高揚を図る。また、そのような場面が設定されている。	3.74
	保護者	お子さまの自己肯定感が高い方である。	3.24
	生徒	自分はよいところがあると思いますか？	3.93
危機管理 （いじめの対応）	教職員	いじめ見逃しゼロを学校全体で推進する。	4.47
	保護者	学校は「生命を大切にする指導」「いじめを許さない指導」を適切に行っている。	3.92
	生徒	東光中学校には、いじめや暴力はないと思う。	3.65
学年・学級	保護者	お子さんは、意欲をもち、授業や学級活動に取り組んでいる様子がうかがえる。	3.89
	生徒	生徒会活動・学級の係活動、学校行事に積極的に取り組んでいる。	4.31
学習指導	教職員	「東光中授業スタイル」の実践による明確な目標の設定や、学んだことを振り返る場面を設定し、学習内容の理解と定着を図る。	4.21
	保護者	学校は、学習の基礎・基本の定着に向けて指導している。	4.19
	生徒	授業はわかりやすいと思う。	4.23
部活動	教職員	生徒の心身の成長を促す部活動の指導に努めている。	4.47
	保護者	学校は、部活動の活動時間を守り、休養日を確保している。	4.26
生活習慣	保護者	お子さんは、メディア（ＴＶ・ＰＣ・スマホ・携帯・ゲーム機等）の利用をコントロールしていますか（学習目的以外での使用時間をお答えください）。	3.14
	生徒	先生や友達に挨拶がよくできている。	4.42
家庭学習	教職員	ＩＣＴ機器等を活用して、家庭学習の習慣化を図る。	3.21
	保護者	お子さんは家庭学習の習慣が身についている。	2.06

【教職員の年間評価と今後の対応】

・「東光中授業スタイル」（①学習意欲を喚起させる課題提示、②学習課題を追求する見通し・手立て、③課題の探究～発表交流の充実、④まとめと振り返り）の浸透を図り、個別最適で協働的な学びを推進することができた。今後も「東光中授業スタイル」とＩＣＴの効果的な活用の深化を図っていく。

・生徒アンケートの結果、「授業で工夫して発表している」や「将来の夢や目標をもっている」の自己評価が下がっている。今後とも、授業改善やキャリア教育の充実を図っていく。

・さまざまな理由で登校が難しい生徒には、本人・保護者の意向を踏まえて、オンライン配信や不登校学級（６組）での受け入れを行ってきた。今後も本人・保護者の心情に寄り添って、学習保障や別室登校等、柔軟に対応していく。

・アンケート結果からも家庭学習の習慣化が課題である。今後は、ＩＣＴを活用して家庭学習を習慣化させたり課題の出し方を工夫したりして改善を図っていく。

・地域に貢献して自己肯定感を育むボランティア活動については、前期は保育園の運動会に１４名の生徒が参加し各方面から反響があった。後期は旭川市社会福祉協議会主催の除雪ボランティアについて参加を呼びかけたが正式に登録した生徒は１名だった。今後も、持続可能なボランティア活動の在り方を検討していく。

・自転車通学におけるヘルメット着用の義務化については、学級指導や街頭指導を通して浸透を図ってきた。今後も家庭と連携して呼びかけていく。

・２学期の避難訓練では、火災を想定して防煙扉が閉じた状態で避難を実施した。今後も社会情勢や自然環境を踏まえて危機管理マニュアルを改訂するとともに、非常事態や不審者対応の在り方についても検討していく。

・働き方改革の一環として、電話機の時間外アナウンスについてご理解をいただきながら具体化することができた。今後は、時間外アナウンスの時間設定について検討していく。

・学習指導をはじめ突発的な事態への対応など、多岐に渡る業務に取り組んでいるが、多忙感から来る不用意な発言を慎み、子どもたちのロールモデルとしての自覚を高めていく。